

れい わ ねん がつ みっか げつ ぜんこうちょうかいこうちょうこう わ  
令和7年3月3日（月）全校朝会校長講話  
みみ ひ よ  
耳の日に寄せて

ねんせい  
1年生のみなさんが音楽会で演奏したよろこびの歌を作曲したベートーヴェン  
は、30歳頃から耳がだんだんと聞こえなくなると言われています。そのよう  
なか なか  
な中でも、ベートーヴェンは作曲を続け、よろこびの歌をはじめ、数多くの作品  
のこ  
を残しました。

きょう がつ みっか みみ ひ みみ ひ みみ き はつおん なや  
今日3月3日は「耳の日」です。耳の日は、耳の聞こえや発音などの悩みを  
すこ かいけつ ねが しょうわ ねん ねん さだ  
少しでも解決したいという願いから、昭和31年（1956年）に定められました。  
じ どう みみ き はつおん すこ こま たんにん  
児童のみなさん、耳の聞こえや、発音のことなどで、少しでも困っていたら、担任  
せんせい そうだん  
の先生に相談してください。

みみ ここち みみ えいよう なん こうちょう  
さて、耳にとって心地よいもの、耳の栄養になるものとは、何でしょうか。校長  
せんせい かんが おと ことば ここち おと あたた ことば  
先生は、こう考えました。それは、音と言葉です。心地のよい音も、温かな言葉  
みみ えいよう  
も、耳の栄養になりますね。

あたた ことば か あ すてき おんがく ふ みみ えいよう  
温かな言葉を掛け合うことや、素敵な音楽に触れることなど、耳の栄養は、  
こころ えいよう こうちょうせんせい はなし お  
心の栄養にもなります。校長先生のお話、終わります。